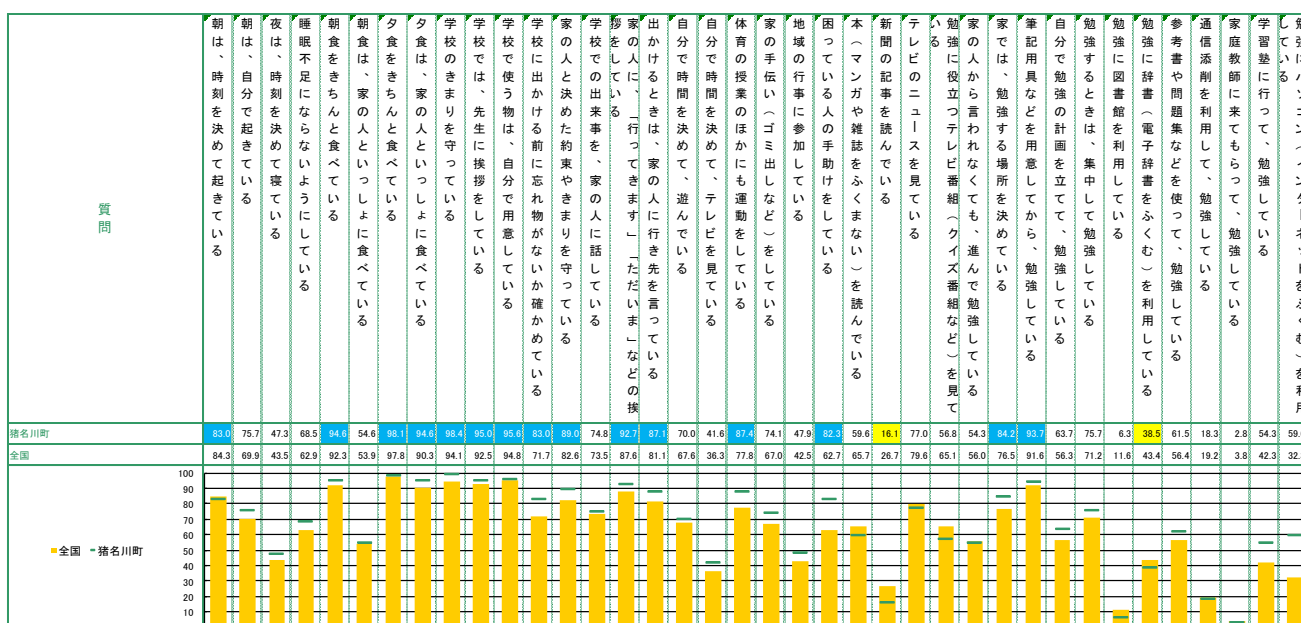


令和3年度 質問紙調査による結果（猪名川町内中学校）

【調査の主旨】

子どもたちの学力を左右するのは、単に学校の授業だけにとどまらず、学校や家庭での過ごし方など日常生活や自尊感情等が大きく影響すると考えられます。日常の生活実態をアンケート調査して、規律ある生活、また自分をコントロールできる生活ができるように、普段の生活を見直すよう調査しました。

■日常生活における基本質問の全国比較



※数値は肯定的に答えた生徒の割合を表しています。

※「生活行動」の『学年・基本質問回答傾向』では、学年における「生活行動」の傾向を示し、肯定率が50%以下の質問に網をかけました。また、全国との比較も示し、全国肯定率に対してマイナス15%以上乖離した質問を太線で囲みました。

※網のかけられた質問や太線で囲まれた質問については、学年における「生活指導」の参考にしてください。

☆町内の中学校2年生の生徒の日常生活は、概ね良好な状況にあります。肯定的な回答は高い水準にあり、普段の生活に乱れは見られません。

○80%以上の肯定率で、全国比率から見ても高い肯定率にあるのは下記の項目です。

- ・朝は、時刻を決めて起きている＝83.0%
- ・朝食をきちんと食べている＝94.6%
- ・夕食をきちんと食べている＝98.1%
- ・夕食は、家の人といっしょに食べている＝94.6%
- ・学校のきまりを守っている＝98.4%
- ・学校では、先生に挨拶している＝95.0%
- ・学校で使う物は、自分で用意している＝95.6%
- ・学校に出かける前に忘れ物がないか確かめている＝83.0%
- ・家の人と決めた約束やきまりを守っている＝89.0%

- ・家の人に、「行ってきます」「ただいま」などの挨拶をしている＝92.7%
- ・出かけるときは、家の人に行き先を言っている＝87.1%
- ・体育の授業のほかにも運動をしている＝87.4%
- ・困っている人の手助けをしている＝82.3%
- ・家では、勉強する場所を決めている＝84.2%
- ・筆記用具などを用意してから、勉強している＝93.7%

○肯定率が低く、また全国平均から見て改善すべき項目もあります。

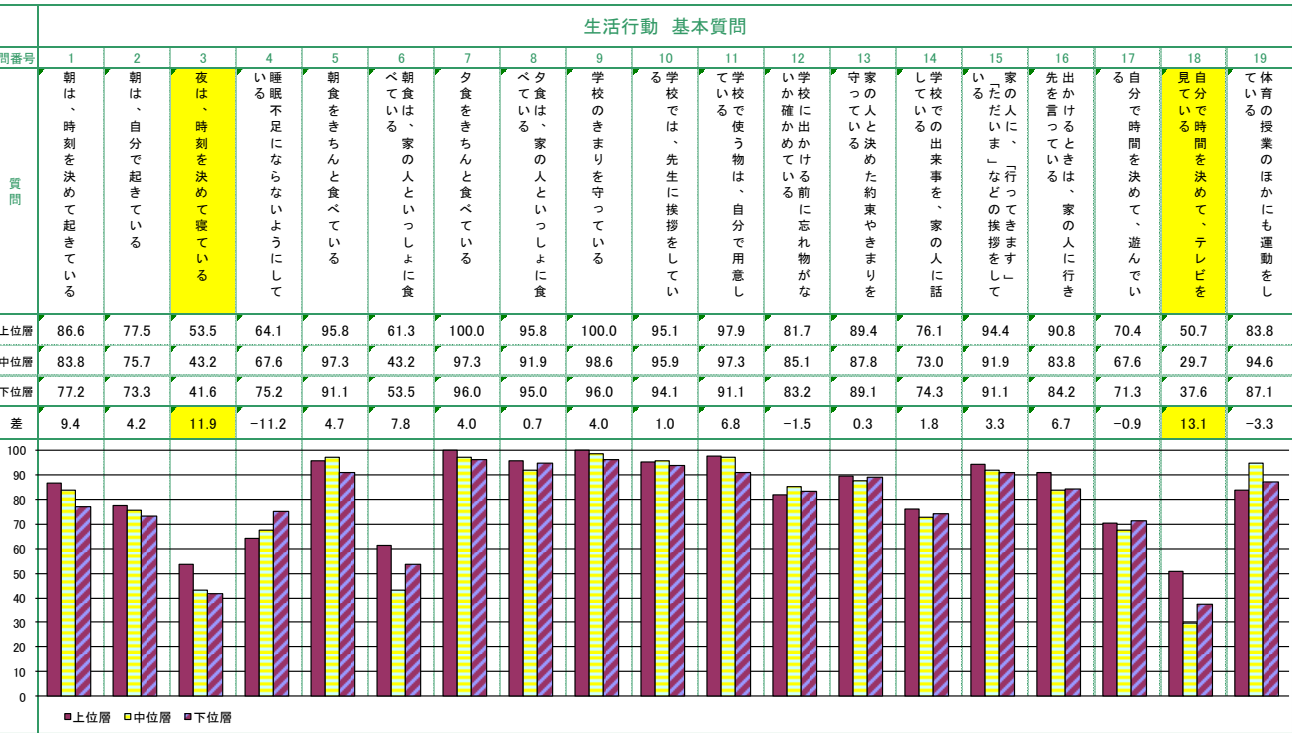
- ・新聞の記事を読んでいる＝16.1%
- ・勉強に辞書（電子辞書をふくむ）を利用している＝38.5%

☆家庭の様子や規範意識が全国平均よりも高く良好です。一方で「新聞を読む」「勉強に辞書を利用する」など、学習活動に関する項目に課題が見られます。

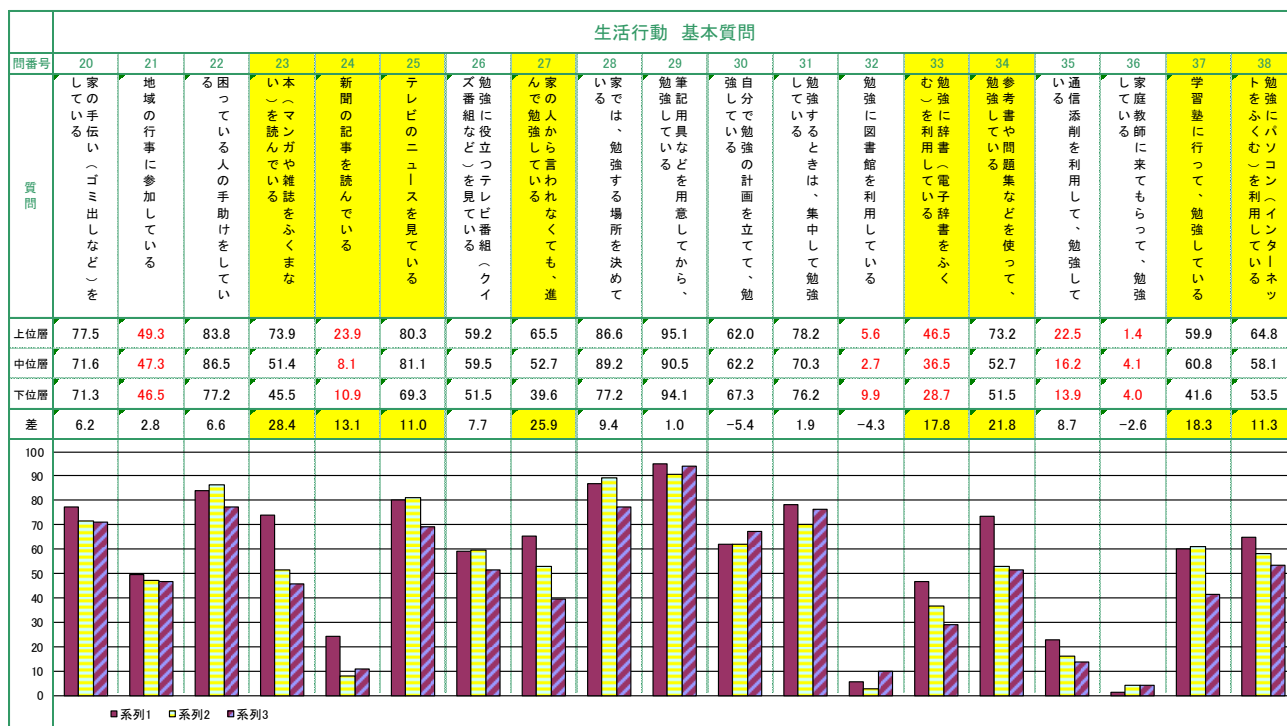
生活行動と学力調査のクロス分析

☆生活行動に関する質問は「学力調査の結果が良い生徒ほど、自分をコントロールする行動や自分を高めようとする行動に対して肯定的である」との仮説に基づいています。学力の3階層（上位・中位・下位）と肯定率の関連性に着目して、調査結果をご覧ください。

【標準学力調査対応】 中学校2年 学年・基本質問3階層回答傾向 猪名川町教育委員会 第2学年



※数値は肯定的に答えた生徒の割合を表しています。3階層の区分は、「標準学力調査」の評定に基づきます。
 ※「生活行動」の『学年・基本質問3階層回答傾向』では、学年における「生活行動」の傾向を示し、肯定率が50%以下の数値に網をかけた。網のかけられた質問については、学年における「生活指導」の参考にしてください。



※数値は肯定的に答えた生徒の割合を表しています。3階層の区分は、「標準学力調査」の評定に基づきます。
※「生活行動」の「学年・基本質問3階層回答傾向」では、学年における「生活行動」の傾向を示し、肯定率が50%以下の数値に網を掛けました。
※網のかけられた質問については、学年における「生活指導」の参考にとってください。

○質問項目で学力調査での上位層と下位層に 10 ポイント以上の大きな差が出たものを列挙しました。

- ・夜は、時刻を決めて寝ている＝学力上位層 53.5%は下位層より 11.9 ポイント高い。
- ・自分で時間を決めて、テレビを見ている＝学力上位層 50.7%は下位層より 13.1 ポイント高い。
- ・本（マンガや雑誌をふくまない）を読んでいる＝学力上位層 73.9%は下位層より ポイント 28.4 高い。
- ・新聞の記事を読んでいる＝学力上位層 23.9%は下位層より 13.1 ポイント高い。
- ・テレビのニュースを見ている＝学力上位層 80.3%は下位層より 11.0 ポイント高い。
- ・家の人から言われなくても、進んで勉強している＝学力上位層 65.5%は下位層より 25.9 ポイント高い。
- ・勉強に辞書（電子辞書をふくむ）を利用している＝学力上位層 46.5%は下位層より 17.8 ポイント高い。
- ・参考書や問題集などを使って、勉強している＝学力上位層 73.2%は下位層より 21.8 ポイント高い。
- ・学習塾に行っている、勉強している＝学力上位層 59.9%は下位層より 18.3 ポイント高い。
- ・勉強にパソコン（インターネットをふくむ）を利用している
＝学力上位層 64.8%は下位層より 11.3 ポイント高い。

○質問項目で全ての層で 50%以下の肯定率だったものを列挙しました。

- ・地域の行事に参加している
- ・新聞の記事を読んでいる
- ・勉強に図書館を利用している
- ・勉強に辞書（電子辞書をふくむ）を利用している
- ・通信添削を利用して、勉強している
- ・家庭教師にきてもらって、勉強している

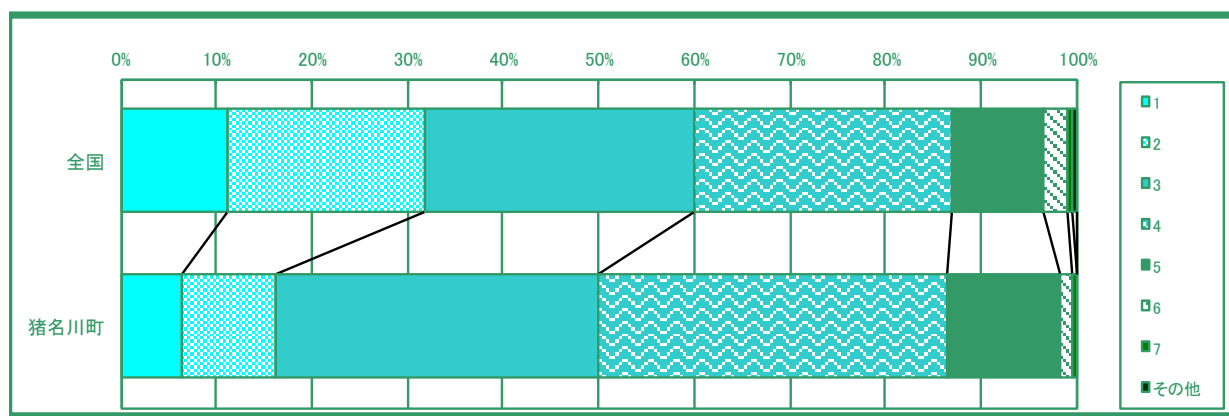
☆基本的な生活行動や学習状況と学力調査の結果層別データをクロスして、肯定率を比較した資料です。
 グラフから明らかなように、大きなばらつきは見えないものの、概して上位層は生活状況や学習態度で
 規律ある生活を送っているのが分かります。

■発展質問回答状況

※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

学校に行く日は、朝、何時ごろに起きますか

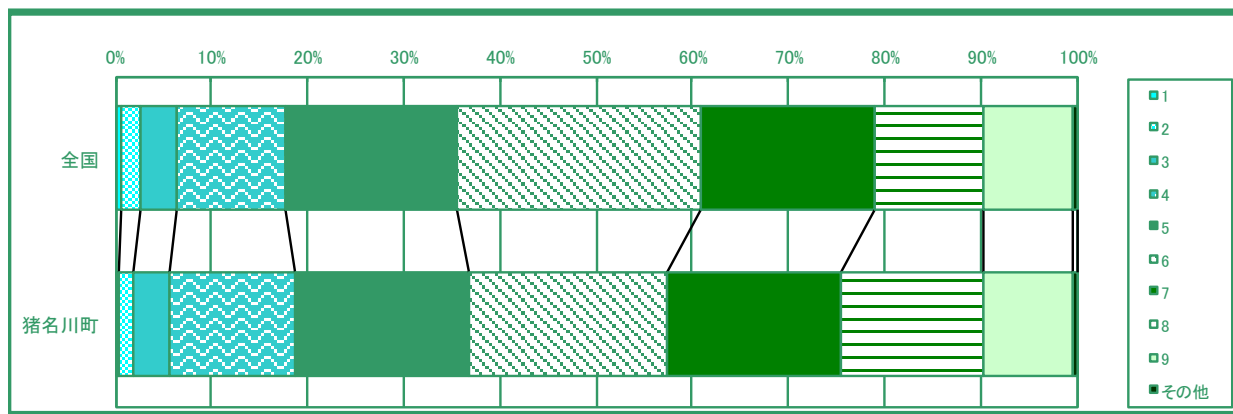
	1 午前6時より 前	2 6時ごろ	3 6時30分ごろ	4 7時ごろ	5 7時30分ごろ	6 8時ごろ	7 午前8時より 後	その他
全国	11.3	20.7	28.1	26.9	9.5	2.6	0.6	0.4
猪名川町	6.3	9.8	33.8	36.6	12.0	1.3	0.3	0.0



○86.4% (令和元年 88.8%) が 7 時までには起床しています。令和元年度は、6 時までには起きる生徒が 23.9% でしたが、今年度は 16.1% と起床時間が遅くなってきている傾向にあります。

学校に行く日は、夜、何時ごろに寝ますか

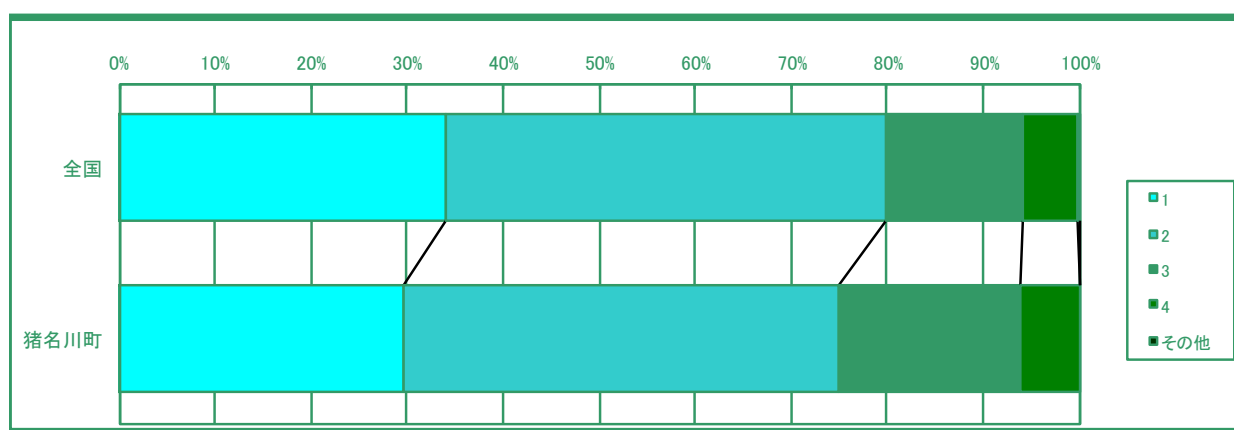
	1 午後9時より 前	2 9時ごろ	3 9時30分ごろ	4 10時ごろ	5 10時30分ごろ	6 11時ごろ	7 午後11時30 分ごろ	8 午前0時ごろ	9 午前0時より 後	その他
全国	0.6	2.1	3.7	11.2	17.8	25.3	18.2	11.2	9.2	0.5
猪名川町	0.3	1.6	3.8	12.9	18.3	20.5	18.0	14.8	9.5	0.3



○10時半～11時ごろに就寝する生徒が38.8%（令和元年40.9%）と一番多いです。11時半ごろまでには、ほとんどの生徒が就寝する習慣になっています。

学校が好きである

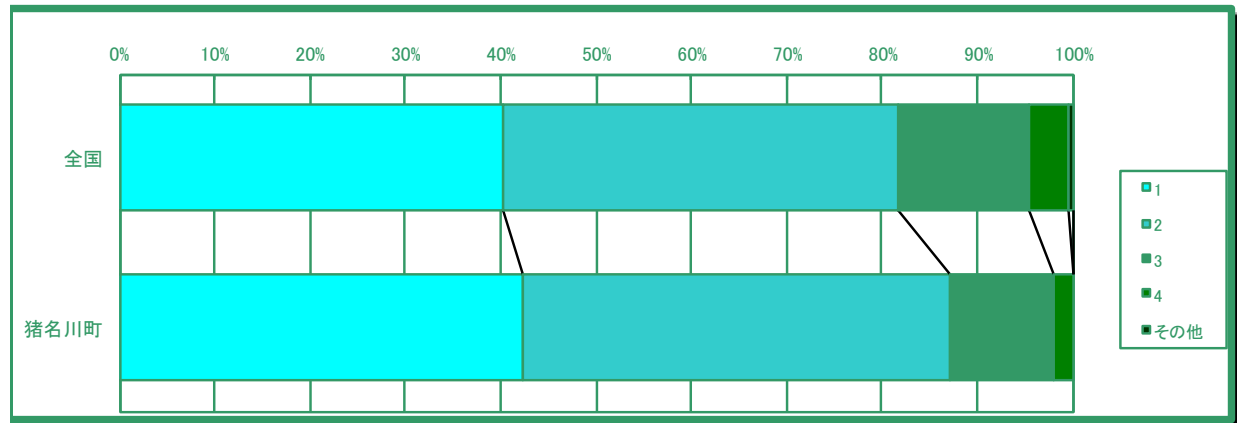
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他	
全国	34.1	45.8	14.3	5.6	0.2	
猪名川町	29.7	45.4	18.9	6.0	0.0	



○「学校が好き」と答えている生徒は75.1%と令和元年度（78.2%）より減少していますが、「まったくあてはまらない」と答えている生徒も6.0%と令和元年度（7.4%）より減少しています。

自分が住んでいる地域が好きである

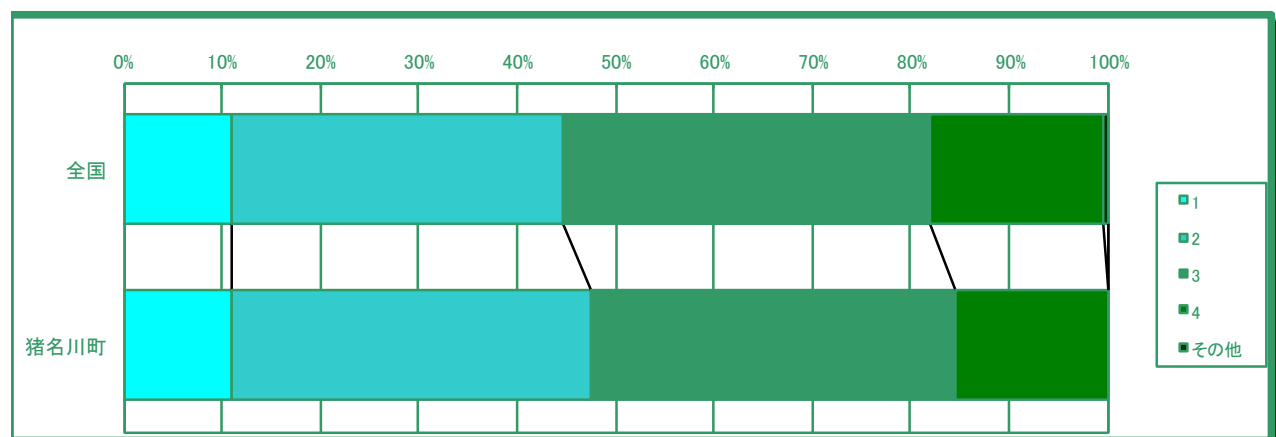
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはま らない	4 まったくあてはま らない	その他	
全国	40.2	41.4	13.8	4.2	0.3	
猪名川町	42.3	44.8	11.0	1.9	0.0	



○「猪名川町が好き」と答えている生徒は 87.1%と令和元年度（87.1%）と同等であり、全国平均 81.6%を上回っています。地域全体で子どもたちを育てている環境となっており非常に喜ばしい状況です。

自分のことが好きである

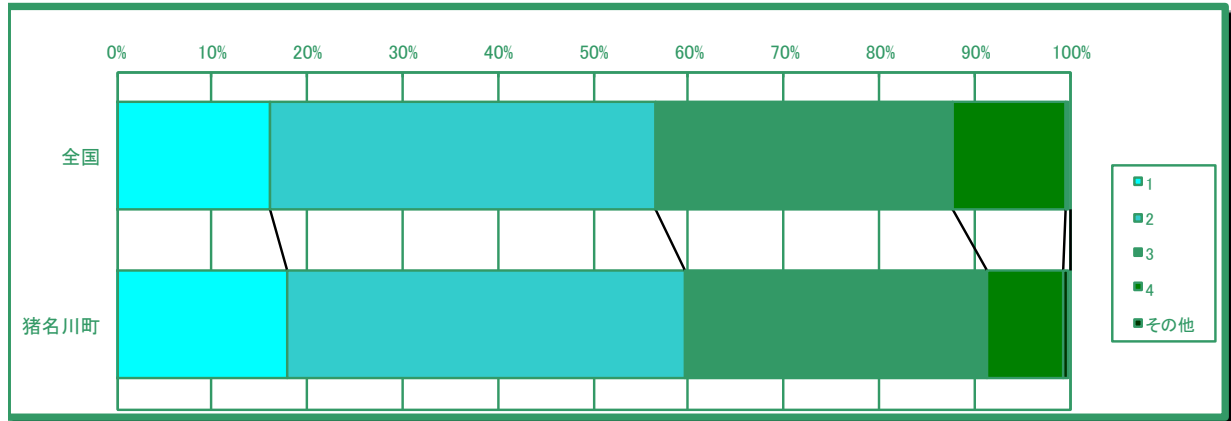
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはま らない	4 まったくあてはま らない	その他	
全国	11.1	33.7	37.3	17.5	0.5	
猪名川町	11.0	36.6	36.9	15.5	0.0	



○「自分のことが好き」と答えている生徒は 47.6%と令和元年度（43.8%）より増加しており、全国平均 44.8%よりも上回り良好な状況にあります。

自分には、良いところがあると思う

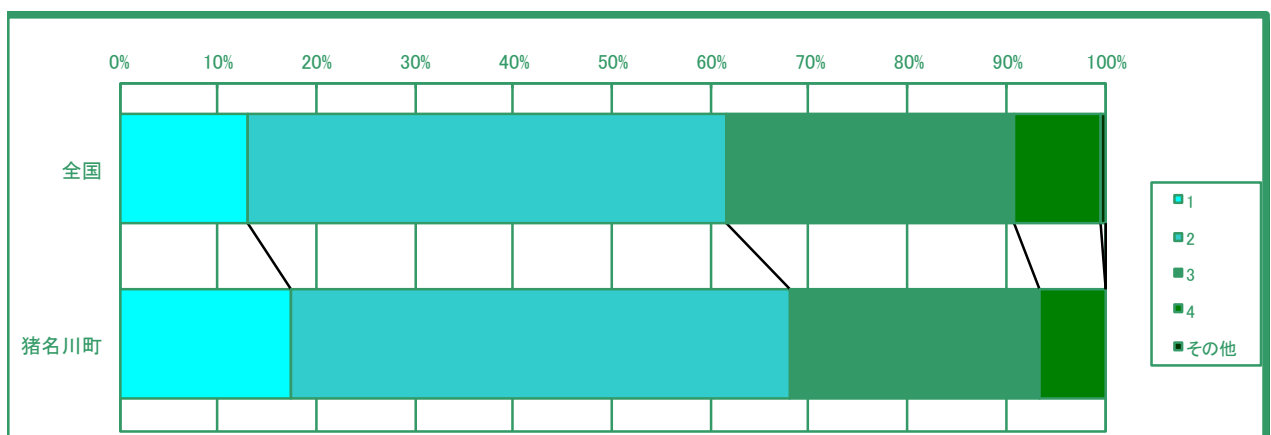
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはま らない	4 まったくあてはま らない	その他	
全国	16.2	40.4	31.0	12.0	0.4	
猪名川町	18.0	41.6	31.9	7.9	0.6	



○「自分には良いところがある」と答えている生徒は 59.6%と令和元年度（60.6%）より減少していますが、全国平均 56.7%より上回り良好な状況にあります。

自分は、友だちから認められていると思う

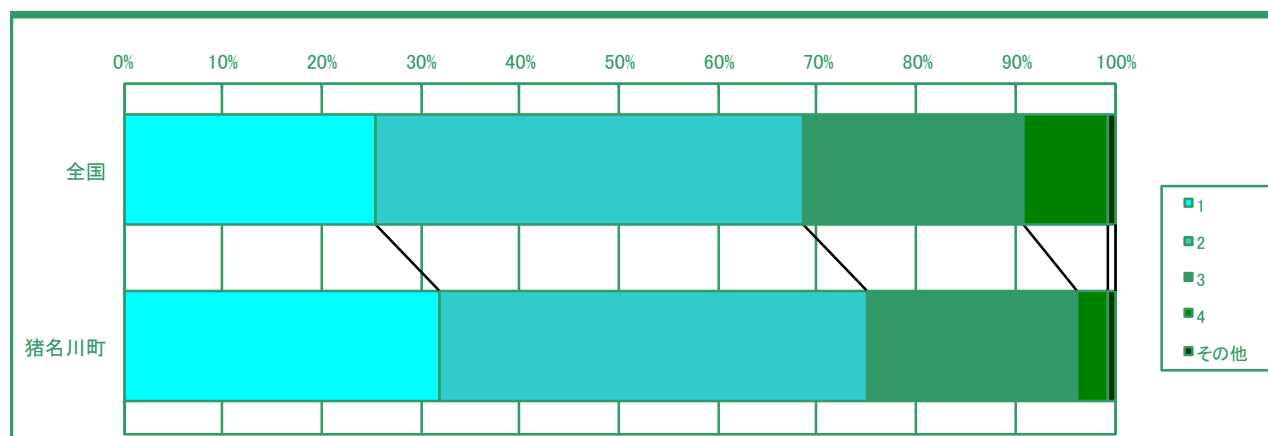
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはま らない	4 まったくあてはま らない	その他	
全国	13.0	48.6	29.1	8.8	0.4	
猪名川町	17.4	50.8	25.2	6.6	0.0	



○友だちから認められている自己認識は 68.1%と令和元年度（68.2%）より減少していますが、全国平均 61.6%を上回り良好な状況にあります。

自分は、家の人から認められていると思う

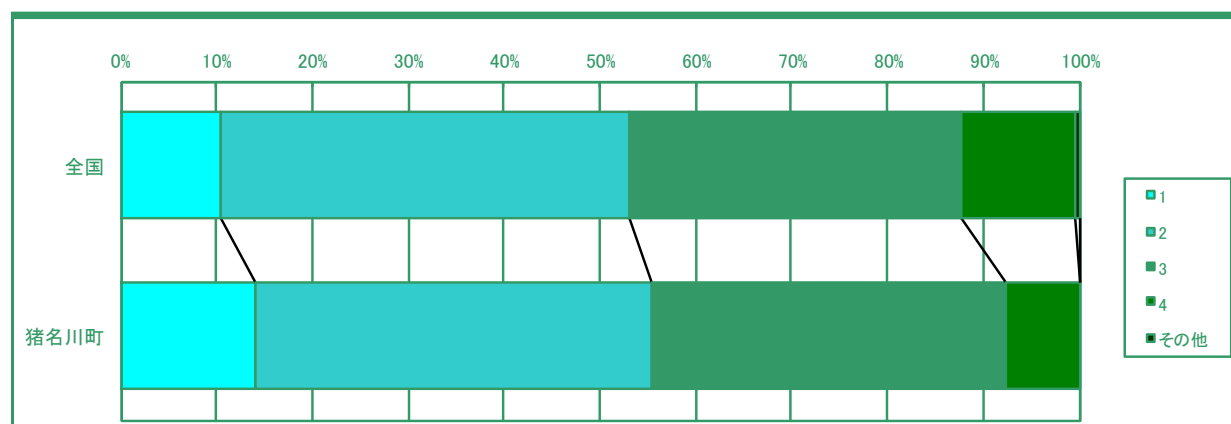
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはま らない	4 まったくあてはま らない	その他	
全国	25.3	43.2	22.2	8.7	0.6	
猪名川町	31.9	43.2	21.1	3.2	0.6	



○家の人から認められている自己認識は75.1%（令和元年73.8%）で全国平均68.6%より高く、多くの生徒は、家庭での存在を大きく感じており良好な状況にあります。

自分は、先生から認められていると思う

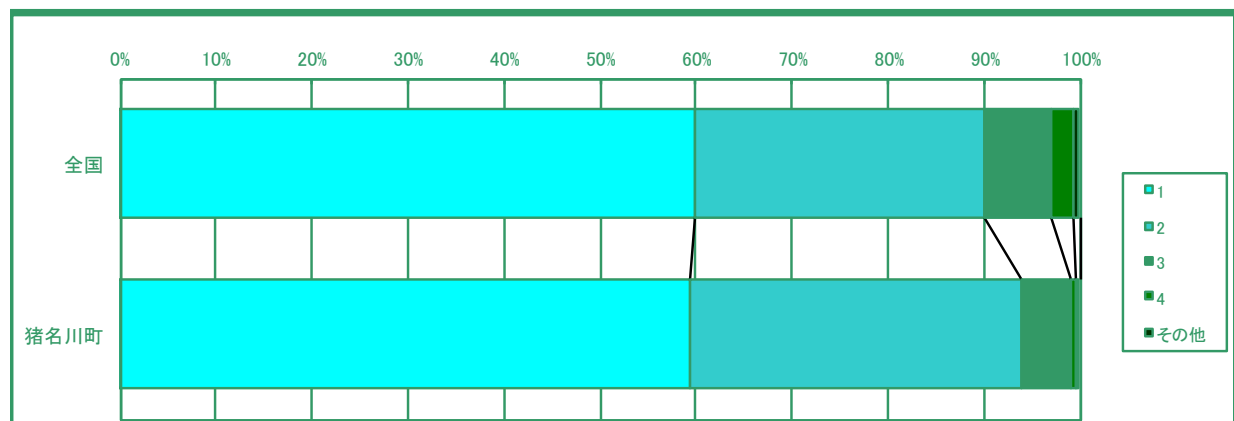
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはま らない	4 まったくあてはま らない	その他	
全国	10.5	42.5	34.7	11.9	0.4	
猪名川町	14.2	41.3	36.9	7.6	0.0	



○先生から認められている自己認識は55.5%（令和元年55.9%）と、全国平均53.0%を上回っています。

自分の力をできるかぎり伸ばしたいと思う

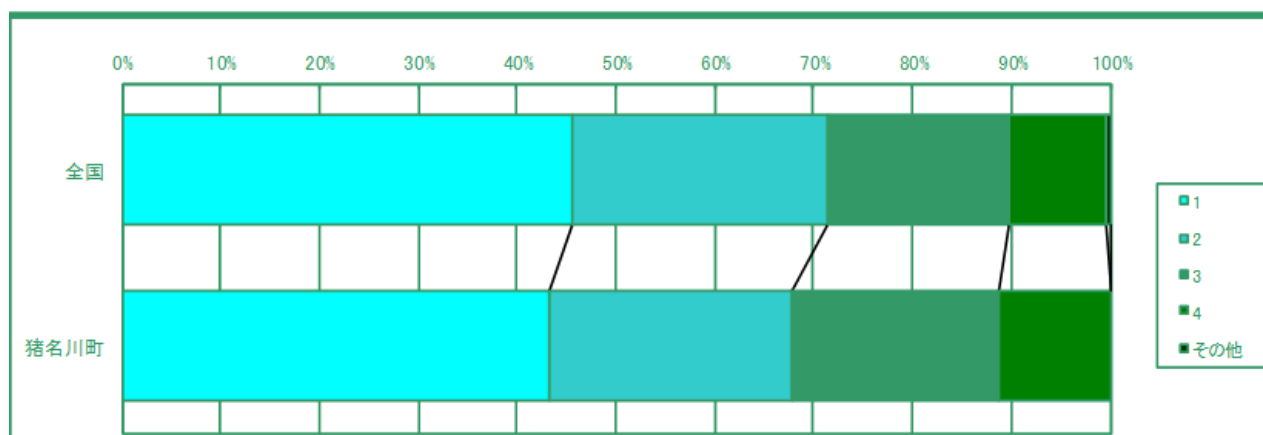
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他	
全国	60.0	30.0	7.0	2.5	0.5	
猪名川町	59.3	34.7	5.0	0.6	0.3	



○94.0% (令和元年 92.4%)の生徒が、全国平均 90.0%よりも「自分の力をできる限り伸ばしたい」と、向上心が高い状況にあります。向上心は「生きる力」の根源で大切にしていきたいです。

将来の夢や目標をもっている

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他	
全国	45.5	25.9	18.3	9.9	0.4	
猪名川町	43.2	24.6	20.8	11.4	0.0	



○「将来の夢や目標をもっている」生徒は 67.8%と令和元年度（72.6%）より減少しており、全国平均 71.4%よりも低いです。

■発展質問回答状況とクロス集計

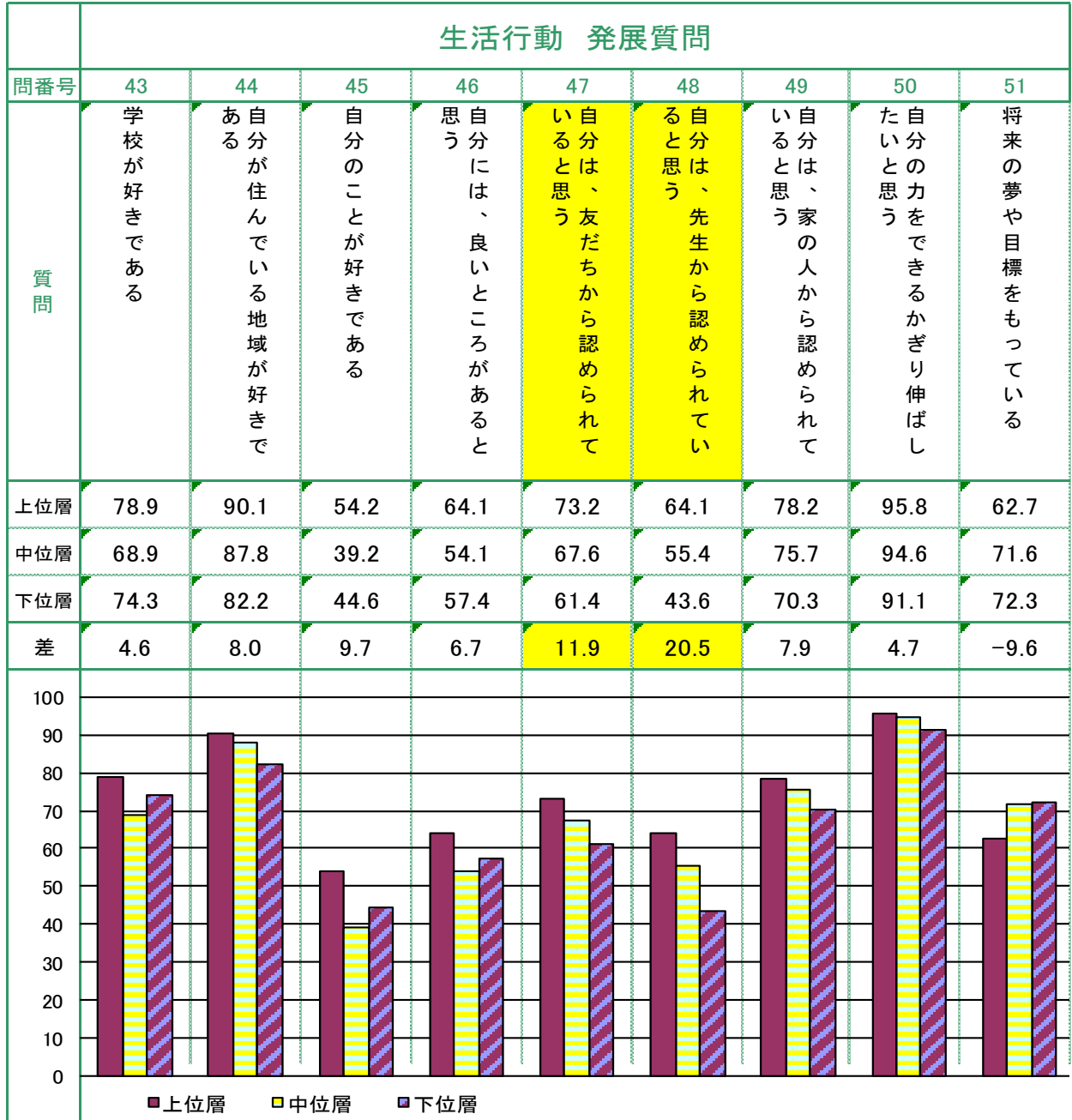
【標準学力調査対応】

生活行動・学習活動調査

中学校2年

生活行動

学年・発展質問3階層回答傾向



※上記の表は自己肯定感や郷土愛などの質問と学力との相関クロス集計です。

◎上位層の生徒が肯定的に回答しており、概ね下位層の生徒と比べて肯定率が高いことがわかります。

- ・「自分は、友だちから認められていると思う」と回答した上位層の方が下位層より 11.9ポイント高い。
- ・「自分は、先生から認められていると思う」と回答した上位層の方が下位層より 20.5ポイント高い。

◎「自分は家の人から認められていると思う」が、令和元年度より全ての層で改善傾向にあります。自己肯定感を育み、明るく希望に満ちた生活を送るためにも、家庭環境の安定は必要不可欠です。

■学習活動調査（国語・数学・英語）

【標準学力調査対応】

生活行動・学習活動調査

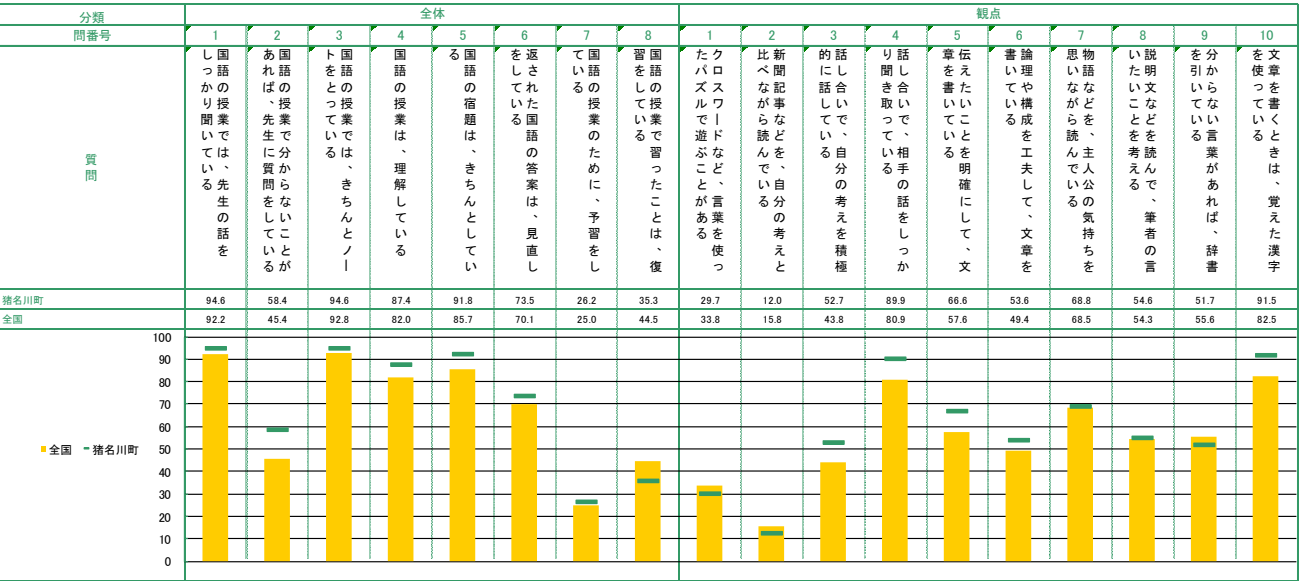
中学校2年

学習活動(国語)

学年・回答傾向

猪名川町教育委員会

第2学年



【標準学力調査対応】

生活行動・学習活動調査

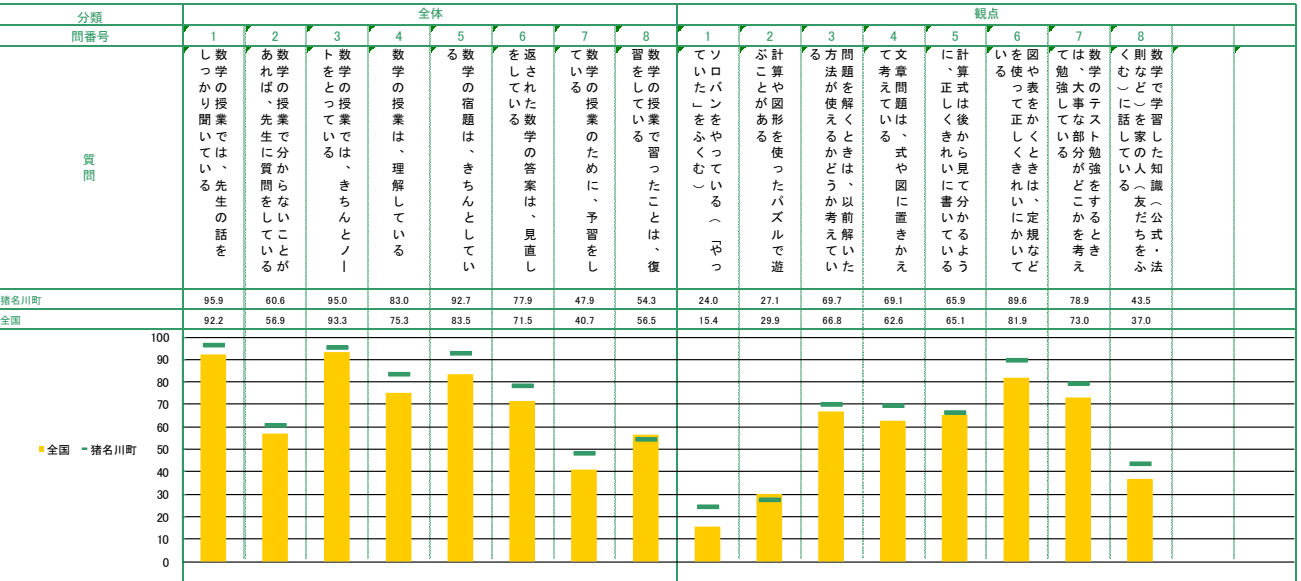
中学校2年

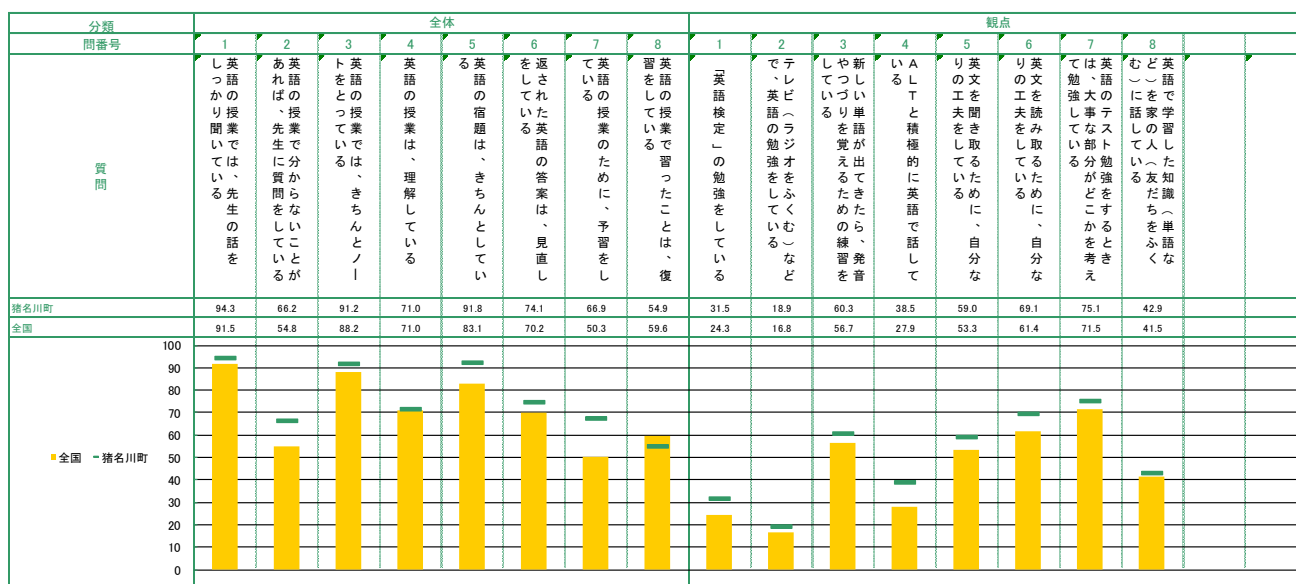
学習活動(数学)

学年・回答傾向

猪名川町教育委員会

第2学年





◎国語・数学・英語ともに学習活動状況は、全国平均から見ても良好です。「先生の話をしっかり聞いている」生徒は、3教科とも肯定率94%を超えて授業態度がしっかりとしていることがうかがえます。「きちんとノートをとっている」生徒も、3教科とも90%以上となっており学習意欲が高い傾向にあります。

◎3教科とも「宿題はきちんとしている」生徒は90%を超え、全国平均より高い傾向にあります。

▼3教科ともに「授業のために予習をしている」生徒は全国平均より高い傾向にあり、令和元年度（国語＝28.2% 数学＝39.4% 英語＝56.2%）と比較して、数学・英語に関しては肯定率が増加している一方、「授業で習ったことは復習をしている」生徒は全国平均を下回っています。

■学習活動調査クロス集計（国語・数学・英語）

【標準学力調査対応】

生活行動・学習活動調査

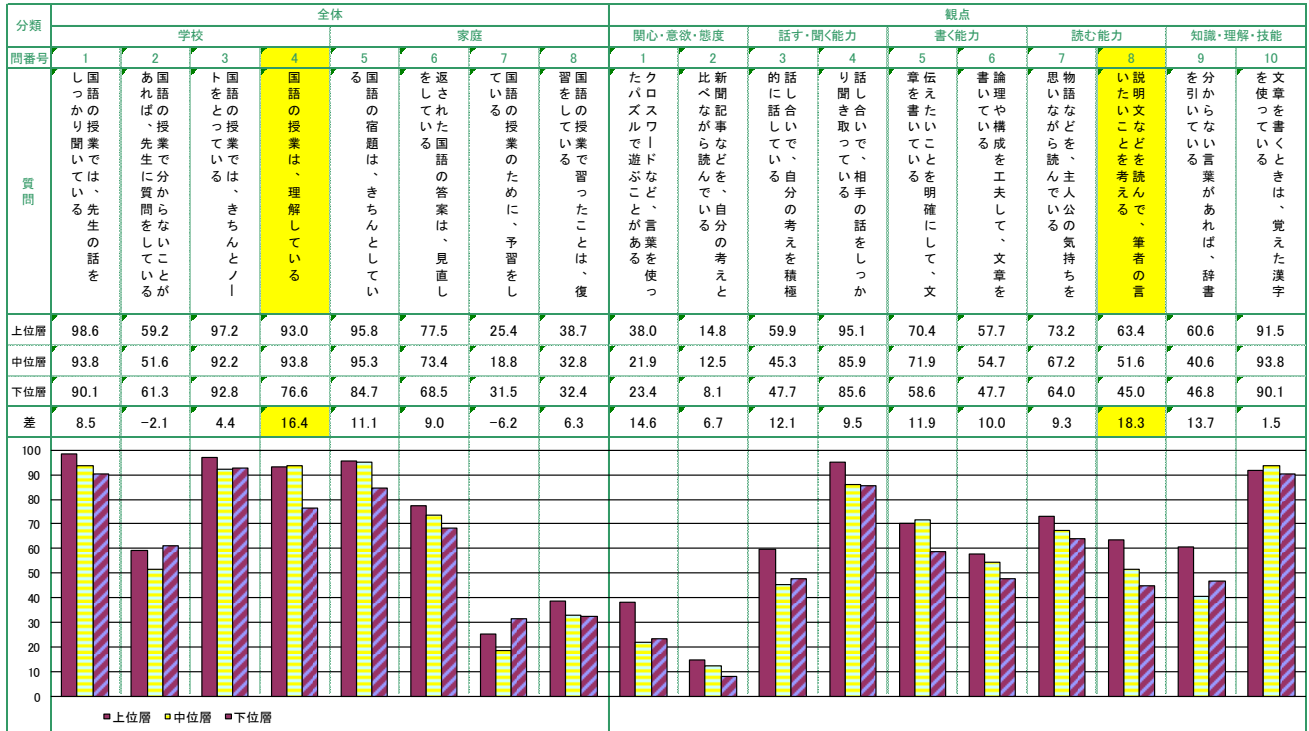
中学校2年

学習活動(国語)

学年・学習3階層回答傾向

猪名川町教育委員会

第2学年



※数値は肯定的に答えた生徒の割合を表しています。3階層の区分は、「標準学力調査」の評定に基づきます。
※「学習活動」の「学年・学習3階層回答傾向」では、学年における「学習活動」の傾向を示し、肯定率が50%以下の数値に網をかけました。
※網のかかれた質問については、学年における「教科指導」の参考にしてください。

【標準学力調査対応】

生活行動・学習活動調査

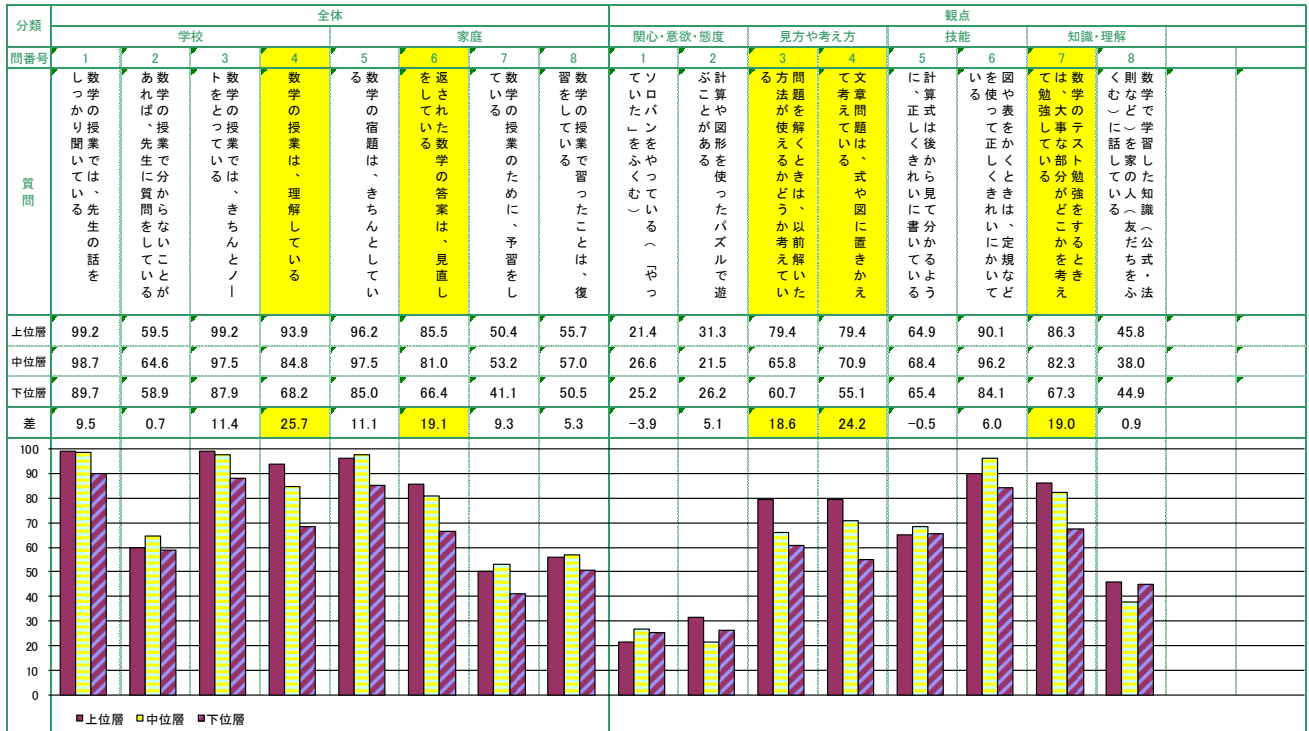
中学校2年

学習活動(数学)

学年・学習3階層回答傾向

猪名川町教育委員会

第2学年



※数値は肯定的に答えた生徒の割合を表しています。3階層の区分は、「標準学力調査」の評定に基づきます。
※「学習活動」の「学年・学習3階層回答傾向」では、学年における「学習活動」の傾向を示し、肯定率が50%以下の数値に網をかけました。
※網のかかれた質問については、学年における「教科指導」の参考にしてください。

分類	全体								観点							
	学校				家庭				関心・意欲・態度		表現の能力		理解の能力		知識・理解	
問番号	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
質問	英語の授業では、先生の話をしっかりと聞いている	英語の授業で分からないことがあれば、先生に質問をしている	英語の授業では、きちんとノートをとっている	英語の授業は、理解している	英語の宿題は、きちんとしている	返された英語の答えは、見直しをしている	英語の授業のために、予習をしている	英語の授業で習ったことは、復習をしている	「英語検定」の勉強をしている	テレビ(ラジオ)をふくむなどで、英語の勉強をしている	新しい単語が出てきたら、発音やつづりを覚えるための練習をしている	A L T と積極的に英語で話している	英文を聞き取るために、自分なりの工夫をしている	英文を読み取るために、自分なりの工夫をしている	英語のテスト勉強をするときは、大事な部分がどこかを考えて勉強している	英語で学習した知識(単語など)を家の人(友達)とをふくむに話している
上位層	96.6	67.8	90.4	89.7	95.2	80.1	74.0	63.0	47.9	21.2	69.2	43.2	66.4	76.7	82.2	45.9
中位層	96.1	68.6	88.2	60.8	96.1	86.3	70.6	58.8	19.6	17.6	60.8	37.3	60.8	74.5	74.5	45.1
下位層	90.8	63.3	93.3	52.5	85.8	61.7	56.7	43.3	16.7	16.7	49.2	33.3	49.2	57.5	66.7	38.3
差	5.7	4.5	-2.9	37.2	9.4	18.5	17.3	19.7	31.3	4.6	20.0	9.8	17.3	19.2	15.5	7.6

※数値は肯定的に答えた生徒の割合を表しています。3階層の区分は、「標準学力調査」の評定に基づきます。
※「学習活動」の「学年・学習3階層回答傾向」では、学年における「学習活動」の傾向を示し、肯定率が50%以下の数値に網をかけました。
※網のかけられた質問については、学年における「教科指導」の参考にしてください。

○「国語」の学習活動で15ポイント以上の差があった観点項目

- ・学校＝国語の授業は、理解している。
- ・読む能力＝説明文などを読んで、筆者の言いたいことを考える。

○「数学」の学習活動で15ポイント以上の差があった観点項目

- ・学校＝数学の授業は、理解している
- ・家庭＝返された数学の答えは、見直しをしている。
- ・見方や考え方＝問題を解くときは、以前解いた方法が使えるかどうか考えている。
文章問題は、式や図に置きかえて考えている。
- ・知識・理解＝数学のテスト勉強をするときは、大事な部分がどこかを考えて勉強している

○「英語」の学習活動で15ポイント以上の差があった観点項目

- ・学校＝英語の授業は、理解している。
- ・家庭＝返された英語の答えは、見直しをしている。
英語の授業のために、予習をしている。
英語の授業で習ったことは、復習をしている
- ・関心・意欲・態度＝「英語検定」の勉強をしている。
- ・表現の能力＝新しい単語が出てきたら、発音やつづりを覚えるための練習をしている。
- ・理解の能力＝英文を聞き取るために、自分なりの工夫をしている
英文を読み取るために、自分なりの工夫をしている。

・知識・理解＝英語のテスト勉強をするときは、大事な部分がどこかを考えて勉強している。

◎上位層・下位層とも３教科で、「先生の話をしっかり聞いている」「きちんとノートをとっている」生徒は肯定率が高く、しっかりとした授業態度がうかがえます。

◎３教科とも「授業は理解している」生徒の上位層と下位層との差に、令和元年度と比較して改善傾向が見られます（国語＝21.7 ポイント 数学＝37.3 ポイント 英語＝40.7 ポイント）。特に数学は11.6 ポイント、差が縮まりました。下位層でもわかる授業の効果が出てきていると考えられます。

◎３教科とも「返された答案の見直しをしている」生徒の上位層と下位層との差も、令和元年度と比較して改善傾向が見られます（国語＝26.9 ポイント 数学＝22.6 ポイント 英語＝25.9 ポイント）。日々の授業や宿題の良好さに加えて、復習や答案の見直しを通して学習内容の定着を図りたいです。

▼英語では「授業で習ったことは復習をしている」生徒の上位層と下位層との差が、令和元年度の12.0 ポイントより広がっています。